

科目名 (英)	航空知識Ⅱ Study of Airlines IndustryⅡ	必修 選択	選択 必修	年次	2・3	担当教員	廣田 能律恵先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日3限目
【授業の学習内容】 航空関連の様々な分野における知識をわかりやすく解説します。入社後に幅広く活躍できるよう、本物志向の知識の習得と視野・思考の拡充へ導きます。社会情勢によって変化する業界の情勢を織り交ぜ、各職掌の責任の重さ、業務の面白さとやりがいを実感しつつ、未来志向で学んでいきます。							
【実務経験】 全日本空輸(株)運航本部およびANAグループ複数社にて品質推進、旅客サービス各種、接遇・アナウンス等教育、運航支援、搭降載管理等に10年間従事。(各社にて社内褒賞の受賞歴あり)							
【到達目標】 航空業界の歴史や国内外の企業研究を行い、どのように航空会社が生まれ成長を遂げてきたかや各航空会社の違いを説明できるようになる。また、航空業界を支えている職種に関しても広く学び、チームワークの大切さを感じることが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	業界の全体図を思い描き興味を深めることができる ●シラバス・評価方法説明 ●自己紹介 ●航空会社と航空関連会社 ●職掌紹介(一部)
2回目	空港と空港業務の概要を学ぶことができる ●空港の種類 ●空港施設 ●航空管制の基礎 ●空港職(ラウンジ、INFO等)
3回目	国内線見学会に当たり、国内線の特性や国内線ターミナルビルの施設・従事者について学び、ガイドする準備ができる
4回目	国内線見学会でのガイドを通して、実際に見学して得られた知識とわかりやすい説明スキルを習得できる
5回目	見学会での気付きを共有し、チームワークや準備の重要性を認識できる/ 国際線の特色や業務概要を知ることができる ●路線 ●CIQ ●免税店他
6回目	国際線見学会に当たり、国際線の特性や国際線ターミナルビルの施設・従事者について学び、ガイドする準備ができる
7回目	国際線見学会でのガイドを通して、実際に見学して得られた知識とわかりやすい説明スキルを習得できる
8回目	見学会での気付きを共有して習得した知識を整理・深化し、チームワークの効果的な活用とアウトプットスキルについて総括できる
9回目	航空業界の職掌と業務概要等を学ぶことができる ●旅客サービススタッフ(GS)
10回目	航空業界の職掌と業務概要等を学ぶことができる ●整備士(MC) ●グランドハンドリングスタッフ(GH)
11回目	航空業界の職掌と業務概要等を学ぶことができる ●機種(TYPE)と客室(CABIN)装備 ●運航乗務員(PLT) ●客室乗務員(CA/FA)
12回目	航空業界の職掌と業務概要等を学ぶことができる ●運航管理者・支援者(DISP)
13回目	航空業界の職掌と業務概要等を学ぶことができる ●航空貨物(CGO) ●危険物(DGS) ●ケータリング 他
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試 総括
準備学習 時間外学習	事前に配布されたテキストや資料類は事前に一読して授業に臨みましょう。 知識を得ることは、業界の面白さや仕事のやりがいに気付けるチャンスです。授業後も読み返して、今後の選択や物事に対する考え方に活かしましょう。
評価方法	期末テスト 100% (筆記および実技試験)
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。半年間皆さんと学びの時間を共有できるのが楽しみです。「好きこそものの上手なれ」様々なトリアを通して航空業界のことをもっと好きになってください。 航空業界は社会情勢に大きく影響されます。業界の過去＝歴史を知り、今を見つめ、幅広く学んであなたの目指す「未来」へ繋げましょう。また公共交通機関である航空業界において、安全運航は最重要課題です。安全こそ全てに優先されるという認識を強く持ち、正確な知識を幅広く身に付けましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルテキストおよびプリント等を適宜配布	

科目名 (英)	手話/業界研修Ⅲ Sign language	必修 選択	選択必修	年次	2・3・4	担当教員	上田 直子 / 村上 奈緒美
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日2時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
福岡市手話奉仕員養成事業の講師の実績がある講師が、手話の基本文法を指導する。
聴覚障害者を理解し、聴覚障害者との場面によってはコミュニケーション手段や簡単な手話による会話の実践を行う。

※実務経験:福岡市手話奉仕員養成事業の講師の実績がある。

【到達目標】

- ・手話で自己紹介を表現することができる
- ・きこえない人とのコミュニケーション手段を説明することができる
- ・いろいろな職業で使えるような接客用語を表現することができる

授業計画・内容	
1回目	第1講座 「ろう者の生活」
2回目	第2講座 伝え合ってみましょう 手の動きや表情で伝え合えることができる
3回目	第3講座 自己紹介をしましょう 手話で名前を表現できる
4回目	第4講座 自己紹介をしましょう 手話で家族を表現できる
5回目	第5講座 自己紹介をしましょう 手話で数を表現できる
6回目	第6講座 自己紹介をしましょう 手話で趣味を表現できる
7回目	第7講座 自己紹介をしましょう 手話で仕事を表現できる
8回目	第8講座 自己紹介をしましょう 手話で住所を表現できる
9回目	第9講座 まとめ 自己紹介を手話で話すことができる
10回目	第10講座 話してみよう！ 1日のことを手話で話すことができる
11回目	第11講座 話してみよう！ 1か月のことを手話で話すことができる
12回目	第12講座 話してみよう！ 1年のことを手話で話すことができる
13回目	総合復習
14回目	試験
15回目	手話スピーチ
準備学習 時間外学習	復習してください
評価方法	・出席率 40% ・筆記試験 30% ・手話の読み取り試験 30%
受講生への メッセージ	手話を学んで、いろいろな場面で、ろう者とのコミュニケーションが出来るように学習します。一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

手話奉仕員養成テキスト 手話で学ぼう手話で話そう

科目名 (英)	就職講座 Work Seminar	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	川崎 侑季
学科・コース	エアライン英語コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 火曜日3時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
職業の内容をより深く知り、エアラインの世界で「当たり前」に求められることを習慣にすることを旨とした授業を行います。

※実務経験:

グランドスタッフとして福岡空港国際線で勤務ののち、エアライン専門学校で3年間勤務。約1,000人の授業、就職支援、教務責任者を担当。

【到達目標】

身だしなみ・立居振舞を洗練されたものにする
インターンシップ・企業説明会・就職活動をスムーズに始められるようになる
エントリーシートをためらいなく提出できるようになる

授業計画・内容	
1回目	身だしなみ・立居振舞・声の出し方・歩き方・面接所作:2年生までの授業で行ったことをテスト形式で総復習。これまでの授業内容を思い出しおきましょう
2回目	インターンシップ・企業説明会:就職関連イベントの重要性、参加学生のチェックポイントを改めて理解しましょう
3回目	キャリアパス:職種ごとに就職後進むキャリアについて理解し、職業選択ができるようにしましょう
4回目	アナウンス・声の出し方:実際の航空会社アナウンスを実践することで「事実と心の両方を伝えること」「職種ごとの違い」を意識し、各社の特色をつかみましょう
5回目	職業プレゼン:総合職・グランドスタッフ・CAを「ひとことで表すと」どんな職業か、どんな理由でどの職業を目指すのかという「職業選択の軸」をつくりましょう
6回目	企業研究(CA・総合職):これまでプレゼンしてきたものを振り返り、志望する航空会社の想いを汲み取り自分のことばで表現しましょう
7回目	企業研究(空港・グランドスタッフ):働きたいと思う空港はどこなのか、各空港のハンドリング会社について調べ、特徴をつかみ発表しましょう
8回目	自己表現:あらためて自己分析し、「これまでの成長」「自分をひとことで表す言葉」など面接に向けた質問に筋道を立てて答えられるようになりましょう
9回目	志望動機:企業研究・職業理解・自己分析の内容をすべて踏まえて面接形式で発表しましょう
10回目	英語面接:英語面接を行う意図は何か、自己表現におすすめの英単語の紹介をすることで英語に対する恐怖心を少しでも減らしましょう
11回目	動画選考:昨年提出したものを確認し、自信を持って撮影できるようにしましょう
12回目	オンライン面接・ビデオインタビュー:さまざまな企業で取り入れられている面接形態をマスターしましょう
13回目	グループディスカッション:求められることを復習し、ディスカッションの種類を知ることによって「知らない恐怖」を取り除きましょう
14回目	期末試験:面接形式で行います
15回目	試験振り返り・エントリーに向けて:試験をはじめ前期の授業を振り返り、ためらいなくエントリーできるようになりましょう
準備学習 時間外学習	1年生・2年生のときに学習した内容を踏まえて授業を進めていきます。 復習を十分行ったうえで授業に臨んでください。 また、「プレゼン」「発表」「表現」「撮影」と記入しているものは事前準備を行ったうえで授業を受けてください。
評価方法	試験70%、出席・授業態度30%で評価します。
受講生への メッセージ	3年生はインターンシップのエントリーが本格化していき、就職活動が近づいてきています。 履歴書に記載できるような資格は3年生のうちに取得しておきましょう。 エアラインは面接内容だけでなく「印象」を大切にしています。 これまでは指摘することはしていませんでしたが、今年度からは授業中だけでなく「常に」身だしなみ、立居振舞を意識し、好印象を貫けるようになりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
特になし。資料があれば授業の都度配布いたします。	

科目名 (英)	就職講座 Work Seminar	必修 選択	必修 選択	年次	3・4	担当教員	廣田 能律恵先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 金曜日3限目
【授業の学習内容】 丁寧な自己分析と企業研究に基づき、企業に求められるホスピタリティに富んだ人柄や熱意、将来性が伝わるような応募書類の作成を指導します。また必要なマナーや様々な形式の面接試験の各ポイントを抑え、「傾聴」と「対話」の中で自信を持って魅力ある自己PRができるよう導きます。							
【実務経験】 全日本空輸(株)運航本部およびANAグループ複数社にて品質推進、旅客サービス各種、接遇・アナウンス等教育、運航支援、搭乗管理等に10年間従事。講師業の他、大手教育事業社の店舗にて営業接客・MC・運営サポート及び同社こども英語教室、大手老舗百貨店外商部、行政機関等での勤務経験も有する。							
【到達目標】 就職試験対策(自己分析・時事問題・面接対策・グループディスカッション等)を行い自分に合った企業の内定を獲得できるよう準備することができる。							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介を通して自己分析の深度を確認できる オリエンテーションを通して就職活動の全体図を思い描ける 就職する意味を理解できる
2回目	受験先へのエントリー方法、応募書類の作成方法および提出マナーを習得できる
3回目	業界および企業研究の着目ポイント、企業と学生の視点の違いと重視すべきポイントを認識できる
4回目	自己分析の必要性を理解して、ポイントを抑えた客観的な自己分析の方法を習得できる(自分史の作成、経験の振り返りと分析)
5回目	自己分析の結果から自己を客観的に捉え、長所や特技を抽出できる ●エゴグラム(性質、他者との関わり方、集団での立ち位置)
6回目	PREP法に則り、わかりやすく説得力のある表現を習得できる ●記述 ●口述 ●リフレーミング
7回目	志望企業や職種を意識して、経験や長所から基本的な自己PRを作成することができる ●企業研究 ●趣味・特技
8回目	自己分析・業界研究・企業研究を踏まえて、企業への熱意と将来の活躍を感じさせる説得力のある志望動機を作成することができる
9回目	基本的な履歴書を作成し、添削を受けることができる
10回目	面接試験の重要性と必要なマナー、「対話」のポイントを理解できる ●マナー ●表情 ●立ち居振る舞い ●発声 ●対話力 ●傾聴姿勢
11回目	経験、自身の抱くホスピタリティ、長所、趣味・特技などを踏まえた魅力ある自己PRを口述できる 聴き取りやすい発声と滑らかな活舌を習得できる
12回目	グループ面接のポイントを理解し、練習と振り返りができる
13回目	グループディスカッションのポイントを理解し、練習と振り返りができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	自己分析や企業研究等、指示された課題は必ず行い、授業の時間を最大限有効に使えるようにしましょう。 この授業は自分自身と向き合うことからスタートします。テーマはあなた自身です。常に「自分とは？」という意識を抱いて生活してください。 受け身で受講するのではなく、積極的に言葉や声を紡ぎ、仲間と支え合い、刺激し合い、自分自身の成長の場としましょう。 面接練習で習ったポイントは、授業後もくり返し練習しましょう。
評価方法	期末テスト 100% (筆記および実技試験)
受講生への メッセージ	進級おめでとうございます。この授業では本格的な就職対策を行います。不安を感じる人もいるでしょうが、焦る必要はありません。一人ひとりの魅力は異なるため、質疑応答に正解はなく、問われているのはあなたの人間性と未来への意気込みです。今まで一生懸命頑張ってきたことや、失敗から学んだ積み重ねこそがあなたの魅力です。自分自身と素直に向き合い、それらを相手に伝えましょう。時間は全ての人に平等であり、夢は強く具体的に願った人ほど叶えられます。日々の学びを大切に、すぐ先にある未来の夢に向かって一歩ずつ着実に歩みを進めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルテキストおよびプリント等を適宜配布	

科目名 (英)	カジノ実習 Casino practice	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	牧尾 理央
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日1時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) カジノの4大ゲームである「ブラックジャック」、「ルーレット」、「バカラ」、「ポーカー」のゲームルールとテーブルマナーを実践を通して学び習得する。</p> <p>【IR一般教養】 海外のIR(統合型リゾート)導入事例、日本型IRの有効性とカジノの本質、世界のカジノの歴史と文化、IRにおけるカジノディーラーの仕事について学ぶ。</p> <p>※実務経験:韓国パラダイスシティのカジノで3ヵ月のインターンシップを経験、ラスベガスのディーラースクールへの短期留学を予定。</p>							
<p>【到達目標】 海外のIR導入事例を考察して、日本型IRの有効性を正しく理解することで、将来のIRに関連するビジネスへのビジョンを持つ。 世界基準のカジノマナーとゲームルールを体験しながら学ぶことで、カジノの本質を知る。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ブラックジャックのルールとマナー体験 ① (基本的なルールとテーブルマナーを学習)
2回目	ブラックジャックのルールとマナー体験 ② (実践学習)
3回目	ルーレットのルールとマナー体験 ① (基本的なルールとテーブルマナーを学習)
4回目	ルーレットのルールとマナー体験 ② (実践学習)
5回目	バカラのルールとマナー体験 ① (基本的なルールとテーブルマナーを学習)
6回目	バカラのルールとマナー体験 ② (実践学習)
7回目	ポーカーのルールとマナー体験 ① (基本的なルールとテーブルマナーを学習)
8回目	ポーカーのルールとマナー体験 ② (実践学習)
9回目	カジノディーラー体験 ① (ディーリング基礎・チップワーク)
10回目	カジノディーラー体験 ② (ディーリング基礎・カードシャッフル)
11回目	カジノディーラー体験 ③ (ブラックジャック基礎)
12回目	IR一般教養 ① (海外のIR事例、日本型IRの有効性)
13回目	IR一般教養 ② (カジノの歴史とカジノディーラーの仕事)
14回目	期末試験 *筆記試験
15回目	カジノ大会を通じて自身の習熟度を確認することができる
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	筆記試験(100点満点)
受講生への メッセージ	本講義では、“カジノ”を通じて世界基準のホテルビジネス、ホスピタリティを学び、たくさんの可能性を持っておられる皆様ひとりひとりの視野をより多方面へと広げられる、様々な「気づき」が得られるような講義となれば幸いです。一緒に楽しく学んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
ハンドアウトのレジメ	

科目名 (英)	キャリアプログラム Carrer program	必修 選択	選択必修	年次	3・4年	担当教員	佐野太一
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 木曜3限
【学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 【学習内容】							
※実務経験:大手印刷会社での企画営業、製造メーカーにおける企画広告宣伝部や、広告デザイン制作企業において企業課題・問題解決に取り組む。							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・業界に必要なチームワークを身につけ実践することができる。 ・状況に応じた態度、発言を実践し、円滑にコミュニケーションとプレゼンテーション能力を図る。 							

授業計画・内容	
1回目	4/10 インフォメーション、2025年度年間の確認
2回目	4/17 インフォメーション、就職活動に関して
3回目	4/24 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
4回目	5/8 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
5回目	5/15 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
6回目	5/22 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
7回目	5/29 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
8回目	6/12 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
9回目	6/19 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
10回目	6/26 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
11回目	7/3 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
12回目	7/10 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
13回目	8/21 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
14回目	8/28 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
15回目	9/4 インフォメーション、(状況に置合わせて適宜実践していきます)
準備学習 時間外学習	企業プロジェクト製作時間に充てる場合があります。 (その際は都度指示を出します)
評価方法	① 課題提出とその内容(80%) ② 授業取り組みとその態度・姿勢(20%)
受講生への メッセージ	通常のHR事項に加えて、取り組んでいる企業プロジェクトの実行制作の時間をこの時間においても行います。 3年生は就活に向けての準備を整える機関になります。準備を整えて就活に臨みましょう。 4年制は学生生活最後の1年間の締めくくりを良いものにしていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	フードビバレッジ実習	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	白川 明彦 / 石川 康二 / 上園 信也
	Beverage foundation	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 随時
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科・ホスピタリティビジネス科						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ホテル、レストラン、御礼等で必要な知識やスキルを実習形式で学びます。

※実務経験:
 <石川>1988年～2009年の21年間日本料理を歴任。ホテル・料亭・寿司割烹店で活躍 専門調理師日本料理取得・専門調理師寿司料理取得・調理師免許取得・全日調理師協会日本料理師範の称号受賞・河豚免許取得
 <白川>:1988年4月～2012年3月までホテル、レストラン、給食委託事業に勤務。ホテル、レストラン、病院給食部門、老健施設、社食、寮などの立上げ提供のオペレーションからメニュー開発まで統括SV、料理長にて運営に携わる。公益法人 全日本司厨士協会福岡支部 理事・アカデミー銅賞授与 / 社団法人 日本エスコフォエ協会 ディシプル章授与。免許取得:西洋部門(専門調理師・調理技能士)、調理師免許
 <上園>東京恵比寿・熊本(モリコーネ)・イタリアナポリ(BAR ROSSO)・鹿児島(トレ・グラッポリ)にてカフェ・レストランにてマネージャー&パスタとして10年間勤務し、様々なカフェのオープニング立ち上げやパスタの育成に従事。JBA(日本パスタ協会)認定資格・IAC(国際カフェテイティング協会)認定資格取得。

【到達目標】

- ・レストラン・婚礼の場で自身がサー빙する(提供する)際、その一皿がどのような過程(材料・調理法・レシピ)で作られているのかを学び体感することができる。
- ・アレルギーや宗教的な面で調理スタッフが気を付けていることを知ることができる。

授業計画・内容

1回目	6月27日(金) 1限 オリエンテーション(授業の内容、シラバス確認、授業日確認) ※703教室に集合してください
2回目	7月4日(金) 1限 フード&ビバレッジについて ※703教室に集合してください
3回目	7月11日(金) 1限 フード&ビバレッジについて ※703教室に集合してください
4回目	7月18日(金) 1限 フード&ビバレッジについて ※703教室に集合してください
5回目	7月22日(火) 1限 <白川先生> 第7節 フランス料理の種類と調理例【講義形式】 フランス・イタリア料理の違いについて、フルコース料理:ソースと魚・肉料理①
6回目	7月22日(火) 2限 <白川先生> 第7節 フランス料理の種類と調理例【講義形式】 フランス・イタリア料理の違いについて、フルコース料理:ソースと魚・肉料理②
7回目	7月22日(火) 3限 <白川先生> 第7節 フランス料理の種類と調理例【実習形式】 料理名:ハンバーグサンド/フライドポテト テイクアウト商品を作ろう①
8回目	7月22日(火) 4限 <白川先生> 第7節 フランス料理の種類と調理例【実習形式】 料理名:ハンバーグサンド/フライドポテト テイクアウト商品を作ろう②
9回目	7月23日(水) 1限 <石川先生> 日本料理の歴史・文化を知ることができる。
10回目	7月23日(水) 2限 <石川先生> 日本料理の懐石料理・精進料理・茶懐石料理について学ぶ
11回目	7月23日(水) 3限 <石川先生> 日本料理の食事の取り方とマナーについて知ることができる。
12回目	7月24日(木) 1限 <上園先生> 紅茶の歴史～3大紅茶～試飲
13回目	7月24日(木) 2限 <上園先生> 珈琲の歴史～ドリップ抽出～ドリップ以外の様々な抽出について学ぶことができる。
14回目	7月24日(木) 3限 <上園先生> 近代の珈琲～エスプレッソ抽出～試飲について知ることができる。
15回目	7月24日(木) 4限 授業のまとめ(最終レポートを記入)

準備学習
時間外学習

評価方法

課題レポート 100% ※7月24日 4限にレポートを記入し、内容で評価します。

受講生への
メッセージ

皆さんが目指すホスピタリティ業界で、食や料飲サービスはとても重要な要素です。
 自分にとってプラスになる知識やスキルを学ぶことができるので各講義でしっかり吸収していきましょう！
 ※授業日がイレギュラーなため、日程を各自漏れなく確認してください。

【使用教科書・教材・参考書】

第5回目以降、エプロン・三角巾・黒ボトムスで参加すること。(アクセサリー、時計は必ず外す)身だしなみが整っていない場合、授業に出席することはできません。

科目名 (英)	航空英語/フロントオペレーション Airline English	必修 選択	選択必修	年次	2.3	担当教員	TUNDE ODEGBARO先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 金曜日3限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 英語でのコミュニケーションやエアライン業界に必要な英語力を身につけます							
【実務経験】 英語講師歴10年							
【到達目標】 航空業界で使用する接客英語をロールプレイングを通じて学び、基本的な対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	チェックインカウンターで現在、過去、そして将来の行動を説明できる
2回目	お客様のリクエストについて話すことができる
3回目	食べ物の好き嫌いを聞くことができる
4回目	ドリンク、スナックのサービスができる
5回目	レッスン1-4の復習
6回目	オーダーを聞いて理解できる
7回目	機内食の説明ができる
8回目	カウンターで変更事項を説明できる
9回目	注意事項を説明できる
10回目	レッスン6-9の復習
11回目	機内でお土産の販売ができる
12回目	空港内の道案内ができる
13回目	テストのための復習
14回目	テスト
15回目	テスト解説
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25%
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。
【使用教科書・教材・参考書】 授業内筆記(この授業専用のノートを用意してください。) ※注) 他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。 必要に応じて航空業界のプリント教材使用します。	

科目名 (英)	マナープロトコール(2級) MannerProtocol(2rd level)	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	加藤亜紀先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						曜日・時限	
2級の検定試験は出題形式が3級とは異なり、より深い学習が必要です。1年生で一通りの学習は終わっておりますので、グループで記述問題を作成、選択問題をピックアップして皆で解き、自主的に学ぶ時間を取り、達成感を感じられる講義を行います。また、模擬問題を繰り返し解くことで2級の試験パターンに慣れることができます。学習の成果として最終的に「文部科学省後援マナー・プロトコール検定2級」の合格を目指します。							
※実務経験：NPO法人日本マナー・プロトコール協会認定講師。講師歴23年。ニテイ学館にて20年講義、大学病院、医療機関等で接遇研修を行う。医療コンシェルジュの育成、指導を行う。平成21年に講師業Cherryを起業、大学、専門学校等で非常勤講師として「マナー・プロトコール」「ビジネス検定」「ケア・コミュニケーション」「秘書検定」「医療接遇」「キャリアサポートアップ」「ホスピタリティ」の講義等を担当。また企業、医療機関、学校等でのマナー研修も行う。							
【到達目標】							
マナー・プロトコール検定2級の対策授業を通じて、国内外のマナー&プロトコールを身に付け資格取得ができる。受験者の多くが社会人となるワンランク上の「マナー・プロトコール検定2級」の資格取得に臨みます。2級はエアラインの客室乗務員や一流ホテルのホテリエを目指すレベルなので就職活動において大きなアドバンテージとなります。自主性を重んじた学習により、マナーの意味を理解し行動できるようになり、卒業時には自信をもって社会生活をスタートできます。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(学習の進め方等)。第5章食事のマナー(洋食のマナー)①:生徒達で作成した該当部分の記述問題、ピックアップした選択問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
2回目	第5章食事のマナー(洋食のマナー)②:生徒達で作成した該当部分の記述問題、ピックアップした選択問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。第6章お酒のマナー①:お酒の種類、ワインの基礎知識を学ぶことができる。6章の予習シート、確認テスト
3回目	第6章お酒のマナー②:生徒達で作成した該当部分の記述問題、ピックアップした選択問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
4回目	第7章「冠」のしきたり:生徒達で作成した該当部分の記述問題、ピックアップした選択問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
5回目	第8章「婚」のしきたり:生徒達で作成した該当部分の記述問題、ピックアップした選択問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
6回目	ここまでの内容の復習:生徒達で食事のマナーから「婚」のしきたりまでの選択問題をピックアップして試験を行う。繰り返し問題を解くことで、自信を持って中間テストに臨むことができる。
7回目	中間テスト(ここまでの内容が理解出来ているか確認テストを行う)・振り返り
8回目	第9章「葬」のしきたり:生徒達で作成した該当部分の記述問題、ピックアップした選択問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
9回目	第10章「祭」のしきたり:生徒達で作成した該当部分の記述問題、ピックアップした選択問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
10回目	序章～第3章までの生徒達でピックアップした選択問題を解き、ポイント解説を行う。選択問題に慣れ、理解を深めることができる。模擬テストを解く。2級の試験パターンに慣れる、テキストの内容の理解を深めることができる。
11回目	第4章～第6章までの生徒達でピックアップした選択問題を解き、ポイント解説を行う。選択問題に慣れ、理解を深めることができる。模擬テストを解く。2級の試験パターンに慣れ、テキストの内容の理解を深めることができる。
12回目	第7章～第10章までの生徒達でピックアップした選択問題を解き、ポイント解説を行う。選択問題に慣れ、理解を深めることができる。模擬テストを解く。2級の試験パターンに慣れ、テキストの内容の理解を深めることができる。
13回目	模擬テストを行う。繰り返し模擬問題を解くことにより試験のパターンに慣れ、理解を深めることができる。自信を持って期末テストに臨むことができる。
14回目	期末試験
15回目	期末テストの振り返り
準備学習 時間外学習	①指示した部分の記述問題をグループで作成する。②指示した範囲の選択問題を各グループで問題集よりピックアップする。①②の問題を毎回授業の始めに試験として行う。試験点数はグループで集計し、グループ戦で競う。問題集を解き直し復習する。
評価方法	①中間テスト、期末テストの点数 80%(筆記試験) ②授業態度・提出物を期日までにきちんと提出する 20%
受講生への メッセージ	2年生の後期に学習した「マナー・プロトコール検定2級」対策授業の後半授業です。2年生では、グループで記述問題を作成することで、テキストの理解が深まったと思います。3年生前期は、テキストの後半部分の学習です。記述問題対策は勿論のこと、苦手とする選択問題対策を強化し、全員で文部科学省後援「マナー・プロトコール検定2級」の取得を目指します。 ワンランク上の資格を取得することは、皆さんが目指すホテルや観光、航空会社での就活において大きな自信となるでしょう。大きな自信は、社会人として仕事を上でも皆さんを更に輝かせてくれます。みんなで2級に合格できるように一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
「マナー&プロトコールの基礎知識」、「マナー・プロトコール検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコール協会発行	

科目名 (英)	就職講座Ⅱ/業界研修Ⅲ/ユニバーサルサービス Universal service	必修 選択	必修 選択	年次	2・3・4	担当教員	廣田 能律恵先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日4限目
【授業の学習内容】							
ユニバーサルマナーを振り返り、公共の場での導入需要が高まっているサービス介助士の知識やノウハウも加えて、より多角的かつ実践的に学びます。被介助者引いてはお客様目線での対話にも使えるコミュニケーションのポイントを学び、面接試験における「傾聴」と「対話」の中で自己PRができるよう導きます。							
【実務経験】							
全日本空輸(株)運航本部およびANAグループ複数社にて品質推進、旅客サービス各種、接遇・アナウンス等教育、運航支援、搭降載管理等に10年間従事。講師業の他、大手教育事業社の店舗にて営業接客・MC・運営サポート及び同社こども英語教室、大手老舗百貨店外商部、行政機関等での勤務経験も有する。							
【到達目標】							
ユニバーサルマナー検定を通じて学んだことを実際にどう使っていくのか実践的に行うことができる。							
多様性が求められる社会において、企業に求められる責任について法的根拠も理解し、正確な知識とホスピタリティに則った実践方法を習得することができる。							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介 ユニバーサルマナーの復習をしつつ、多様性社会で企業に求められる「責任」および法的根拠を理解し、それを担える意識改革ができる
2回目	サービス介助の認識、エイジズム、障害の「個人モデル」と「社会モデル」についての意識を持ち、社会で自分が求められることを考察できる
3回目	介助時の対話の重要性とコミュニケーションのポイントを理解できる
4回目	車椅子の種類・構造・取扱い方法、白杖の種類・取扱いの注意点・利用者への配慮・非常時の見分け方などを理解できる
5回目	高齢者・車椅子利用者の介助やサービスを実践できる
6回目	視覚障害者への介助やサービスを実践できる
7回目	サービスとホスピタリティ、おもてなしの差異について理解できる
8回目	志望する業界に求められるホスピタリティとチームワークについて理解することができる
9回目	自身の目指すホスピタリティやチームワークについて考察し、就職試験の対策に活用することができる
10回目	接客や就職対策に活かせるコミュニケーションスキルを学ぶことができる(概論)
11回目	接客や就職対策に活かせるコミュニケーションスキルを学ぶことができる(話し手のポイント)
12回目	接客や就職対策に活かせるコミュニケーションスキルを学ぶことができる(聴き手のポイント)
13回目	女性の社会進出の実態および活躍できる業務、ライフスタイルに合わせた働き方について、企業人に求められる意識と共に考察することができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
	総括
準備学習 時間外学習	授業で学んだことや考えを巡らせたことは、日常生活やアルバイト等で実践し、接遇スキルも人としての魅力もどんどん高めましょう！テキスト類は適宜読み返して、自己成長やモチベーションの維持に活かしましょう。
評価方法	期末テスト 100% (筆記および実技試験)
受講生への メッセージ	「人との繋がり」という共通項の複数の業界で経験してきた多様な知見を基に、「働く」ということについてお伝えしていきます。そのやりがいと共に、企業人としての在り方、求められるプロフェッショナルの意識、チームワークの重要性についてもしっかりと考えていきましょう。それらが結果として「就職対策」として確実な近道となります。またサービス介助士としての知識を基に、多様性についても盛り込みます。多様性が尊ばれる今の社会において「区別」と「差別」の違いを認識し、個性を尊重しつつ、在りのままの自分の強みについても柔軟に考えてみましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
オリジナルテキストおよびプリント等を適宜配布	

科目名 (英)	ワイン解説Ⅰ ワイン解説Ⅲ Study of wine I・Ⅲ	必修 選択	選択 必修	年次	3・4	担当教員	池本 健介先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)				曜日・時限	火曜日4限目		
<p>ワインに関する基礎知識を得ると共に、実践形式での授業を行い即戦力となれることを目指す。授業前半座学、後半実技。</p> <p>＜講師＞ 2015年株式会社ホテルオークラ福岡入社。宴会場2年、レストランに1年勤務し、その後BAR倉吉に5年勤務。バーテンダー資格、レストランサービス技能資格などを取得。在籍中、カクテルコンテストに出場。現在は、TONY'S BARIに勤務し、所属する日本ホテルバーメンズ協会九州支部より派遣され今回講師を務める。</p> <p>【到達目標】 ワインの歴史や各国文化を総合的に学び、サービス方法やテイasting方法を身に付け、造詣を深めることができる。 “ワインに関する歴史、栽培、醸造方法、各国のワインについて知識をつける。 技術面では、ワインサービスに関わる各器材の使い方、提供方法、セッティング、片付けまで習得する。”</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・酒類概論 飲料サービス用備品に触れることができる(2回目より毎回サービス実践)
2回目	ワインの歴史やブドウの栽培方法、醸造方法を学び、ワインについて知ることができる ワインサービスの実践
3回目	ワインの主要なブドウ品種、ラベルの読み方、ワインのサービス方法を知ることができる ワインサービスの実践
4回目	ワイン生産国について ①フランス ボルドー・ブルゴーニュの2大産地を理解することができる ワインサービスの実践
5回目	ワイン生産国について ②フランスその他の主要産地について学ぶことができる ワインサービスの実践
6回目	ワイン生産国について ③イタリア・ドイツ・スペインについて学ぶことができる ワインサービスの実践
7回目	ワイン生産国について ④アメリカ・チリ・日本について学ぶことができる ワインサービスの実践
8回目	ワイン生産国について ⑤オーストラリア・ニュージーランド・南アフリカについて学ぶことができる ワインサービスの実践
9回目	ワイン以外の飲料について ビール・スピリッツ・リキュールについて学ぶことができる 各種飲料の提供実践
10回目	ワイン以外の飲料について 日本酒・カクテルについて学ぶことができる 各種飲料の提供実践
11回目	レストランシミュレーションを実施することができる(サービストレーニング)
12回目	レストランシミュレーションを実施することができる(サービストレーニング)
13回目	復習・ディスカッションを実施することができる
14回目	試験を通じて自身の習熟度を理解することができる
15回目	試験の復習を通じて自身の足りない知識を補い14回の授業の総括をすることができる
準備学習 時間外学習	コンビニやスーパーなど、ワインを見つけたら手に取ってみてください。名前や産地、ポップに書かれている香りや味の特徴を見てワインに興味を持てる工夫してみてください。
評価方法	授業態度20%・期末試験80%
受講生への メッセージ	まずはワインに親しみましょう。 ワイン以外のことでも、レストラン・バー・ホテルに関することは何でも質問してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
講師作成資料(参考文献:日本ソムリエ協会教本 HBAオフィシャルバーテンダーズブック)	

科目名 (英)	英検/TOEIC対策/英会話 ToEIC measures	必修 選択	選択必修	年次	2・3・4	担当教員	坂田 未央
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期 月曜日1時限 / 火曜日1時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) TOEICは全世界で通用する、ビジネス英語の熟練度を測る試験です。このTOEIC試験の内容をざっと網羅し、リスニングと語彙・文法・読解問題の攻略にあつたの、基礎固めを目指すクラスです。</p> <p>※実務経験:2020年より当校ホテル・エアラインの学生対象にTOEIC、英検対策の授業を行う。2024年 福岡こども専門学校にて保育英会話講師。自宅にて行う英語の個人指導実績は過去に90名以上。(進学実績:九州大・早稲田大・上智大・東京理科大、法政大・明治大など)。東京外国語大学外国語学部英語科卒業。通訳経験、翻訳業務経験多数。英検1級 TOEIC975</p>							
<p>【到達目標】 TOEICテストの全貌を学ぶことができる。TOEIC初級でも、とくに得点しやすいリスニングの前半問題と語彙文法問題に数多く取り組むことで、得点力をアップすることができる。 目標得点(3級レベル:400点以上 準2級レベル:500点以上 2級レベル:600点以上 準1級レベル:700点以上)をクリアする実力をつけることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	年初のオリエンテーション。TOEICテストの内容解説をし取得の意義を伝えることでモチベーションを上げることができる。
2回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
3回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
4回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
5回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
6回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
7回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
8回目	これまでの復習テストをすることにより、弱点を知り改善することができる。
9回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
10回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
11回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
12回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
13回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
14回目	これまでの復習テストをすることにより、弱点を知り改善することができる。
15回目	テストの講評と解説をすることで弱点を知り、その場で修正することができる。
準備学習 時間外学習	毎回ではありませんが、語彙の復習ミニテストなどもあります。その時は前の週にお伝えしますので、しっかり復習をしてきてください。
評価方法	授業中のパフォーマンス・ミニテストの得点:50% 中間期末試験:50%
受講生への メッセージ	TOEICは英検とは全く毛色の違う語彙や出題形式をもった国際資格で、独自の勉強が必要です。幅広いスキルが要求されますので、最初は圧倒されるかもしれませんが、まずは基礎となるシンプルなリスニング問題と語彙文法問題を攻略して、しっかり実力をつけていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
「TOEIC公式問題集10」 「TOEIC書き込みノート」 そのほか、随時必要に応じてプリント教材	

科目名 (英)	英語Ⅲ English Langage Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	TUNDE ODEGBARO先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日2限目/火曜日2限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 英語でのコミュニケーションやエアライン業界に必要な英語力を身につけます							
【実務経験】 英語講師歴10年							
【到達目標】 英語能力をより高める授業内容で、英語でのコミュニケーション能力を伸ばすことができる。ホテル内で使用する接客英語をロールプレイング形式で学び、自身で表現することができる。							

授業計画・内容	
1回目	人の好き嫌いについて話せる
2回目	個人的な背景や興味について話すことができる
3回目	旅行や休暇について話すことができる
4回目	困難な経験について話すことができる
5回目	レッスン1-4の復習
6回目	時間と期間を表現できる
7回目	今後の計画について話し合うことができる
8回目	起こった出来事について話すことができる
9回目	まだ起こっていないことについて話せる
10回目	レッスン6-9の復習
11回目	提案できる
12回目	あなたが住んでいる場所でやるべきことについて話すことができる
13回目	テストのための復習
14回目	テスト
15回目	テスト解説
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25%
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。
【使用教科書・教材・参考書】 授業内筆記(この授業専用のノートを用意してください。) ※注) 他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。 必要に応じて「Hospitality English for Careers at Hotels.」教科書を使用します。	

科目名 (英)	企業プロジェクト Corporate Collaboration Project	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	佐野 太一
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科(ホテル・エアライン)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜2時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】
独自の商品やサービスの開発に取り組み実践力を身につける
(観光・宿泊業の状況実態に沿った企画提案力の強化)
(ラグジュアリーホテル運営と集客に関して研究と提案、フィードバックを通して学ぶ)

※実務経験:大手印刷会社での企画営業、製造メーカーにおける企画広告宣伝部や、広告デザイン制作企業において企業の課題・問題解決に取り組む。

【到達目標】

①企業目標目的を理解し戦略的マネジメント力を身につける
②プレゼンテーション力を身につける
-自分自身の言葉で訴えかけるプレゼンテーション
-英語でのプレゼンテーションの実施

授業計画・内容	
1回目	企業プロジェクトの目的 (業界で求められる5つの力) (4/10)
2回目	業界と地域の現状について、課題を課題や解決法について ① (4/17)
3回目	業界見学 (4/24)
4回目	業界と地域の現状について、課題を課題や解決法について ② (5/8)
5回目	企業プロジェクト開始予定(以降適宜実施)
6回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
7回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
8回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
9回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
10回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
11回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
12回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
13回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
14回目	企業プロジェクト実務(以降適宜実施)
15回目	プレゼンテーション(最終審査)
準備学習 時間外学習	前回取り組んだした内容を常にブラッシュアップを行う。次回授業で確認する。 ※企業ミーティングに参加する際はスーツ着用、身だしなみを整えて参加すること。
評価方法	① 課題提出とその内容(80%) ② 授業取り組みとその態度・姿勢(20%)
受講生への メッセージ	学んできた技術や知識は、実践で使うことで効果を発揮します。しかしながら知識や技術だけでは解決しないことも実践においては多くあります。そのためには自らが調べ、考え、それを伝える努力をしなければなりません。その行動力をこの授業を通して身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	英会話(スピーキング・リスニング) English conversation	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	坂田 未央
学科・コース	エアライン英語	eigo	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 講義内容:前期の学習状況や成果をふまえて、卒業年度のあと半年間で、社会に出た後、役立てるような英語のスキルを上げてもらえるような授業を行います。英検など資格試験を目指す意欲のある人には丁寧に指導します。興味を失わないように、適宜動画やアプリ教材なども交えていきます。</p> <p>※実務経験:2020年より滋慶学園にてTOEIC対策、英検対策、英文法の授業を、オンラインと対面の両方でおこなってきた。また2012年～2022年、延べ80名の小学生～大学生を私塾にて英語指導。東京外国語大学英米語学科卒業。翻訳、通訳の実務経験豊富。TOEIC970点、英検1級。</p>							
<p>【到達目標】 社会で使える英語力を身に付けることができる。英検など資格修得のための対策をしっかりとすることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	後期に向けての挨拶とウォームアップにより、英語の感覚を取り戻すことができる。
2回目	動画視聴、プリント、英検の過去問などに取り組み、楽しく英語力を身に付けることができる。
3回目	動画視聴、プリント、英検の過去問などに取り組み、楽しく英語力を身に付けることができる。
4回目	リスニング問題に丁寧にとりくむことにより、英語表現を身に付け、英語独自の音声に慣れることができる。
5回目	リスニング問題に丁寧にとりくむことにより、英語表現を身に付け、英語独自の音声に慣れることができる。
6回目	リスニング問題に丁寧にとりくむことにより、英語表現を身に付け、英語独自の音声に慣れることができる。
7回目	中間テストを受けることで、これまでの学習内容を復習することができる。
8回目	動画視聴、プリント、英検の過去問などに取り組み、楽しく英語力を身に付けることができる。
9回目	動画視聴、プリント、英検の過去問などに取り組み、楽しく英語力を身に付けることができる。
10回目	リスニング問題に丁寧にとりくむことにより、英語表現を身に付け、英語独自の音声に慣れることができる。
11回目	リスニング問題に丁寧にとりくむことにより、英語表現を身に付け、英語独自の音声に慣れることができる。
12回目	リスニング問題に丁寧にとりくむことにより、英語表現を身に付け、英語独自の音声に慣れることができる。
13回目	期末テストのための対策、質問、自習をすることでこれまで学んだ内容をしっかりと復習できる。
14回目	期末テスト
15回目	テストの返却、解説。動画視聴などおたのしみ会
準備学習 時間外学習	抑えるべき単語や表現など、前回の授業で学んだ内容を、授業の最初にあてて質問します。答えられるように復習をしておいてください。
評価方法	授業態度とパフォーマンス:3割 中間テスト:3割 期末テスト:4割
受講生への メッセージ	学生時代はそれほど関心がなくても、社会人になってから英語をやり直したいという大人はたくさんいます。勉強できる環境のある今のうちに、少しでもみなさんの英語力や英語への興味が高まりますよう、一生懸命お手伝いしますので、いっしょにがんばりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
旺文社「7日間完成」シリーズ、「過去問6回」シリーズ 講師による手作りのプリント類。	

科目名 (英)	ITテクノロジー	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	増田 綾香
学科・コース	エアライン英語	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) WEBマーケティングの基礎を理解し、顧客の認知から購買の流れを学習する。</p> <p>※実務経験: IKK株式会社にてウェディングプランナー/営業部として3年勤務。その後、株式会社グローバルエージェンツにてウェディングプランナー、PR担当として3年勤務 2023年3月よりフリーランスのウェディングプランナー兼 業務委託でライフローラ株式会社のウェディングプランナーを担当中。また、WEBマーケティングについての講義実績も有る。</p> <p>【到達目標】 WEB上での顧客の認知から購買までの流れを理解することができる</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、今後の流れ、WEBマーケティングについての知識を身に付けることができる
2回目	WEBマーケティングのターゲット、ペルソナ設定について理解することができる
3回目	WEBマーケティングフローについて理解することができる①
4回目	WEBマーケティングフローについて理解することができる②
5回目	ブランディングについて理解することができる①
6回目	ブランディングについて理解することができる②
7回目	流入経路について理解することができる(ホテルOTA)
8回目	流入経路について理解することができる(エアラインなど)
9回目	流入経路について理解することができる(ゼクシィ)
10回目	WEBマーケティングの必要性、目的について理解することができる
11回目	流入施策の理解(WEB広告、SEO、SNSマーケティング、記事広告)
12回目	SNSマーケティングの概要
13回目	Instagramのアカウント運用
14回目	評価テスト
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	平常点30%、期末試験70%
受講生への メッセージ	はじめまして。 ブランディングの重要性を知り、WEBマーケティングを理解して、役に立てるように頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	就職講座 Work Seminar	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	白石 真紀
学科・コース	エアライン英語	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本格的な就職活動を前に、正しい言葉の使い方、基本的な社会人対応について、基礎力を強化していきましょう。</p> <p>【実務経験】 大学卒業時の就職活動で九州各県のマスコミ企業、一般企業の面接を受け、最終面接まで多数経験。卒業後は医療コンサルティング会社の営業を経て、司会業に転身。イベント、式典、婚礼、講演会などの司会業務に従事して20年、担当婚礼件数は2,000組～を更新中。その間に、ストレスケアカウンセラー養成、また国家資格キャリアコンサルタントを取得。専門学校、短大、大学において、社会人基礎力、コミュニケーションの講義を担当、就活生に向けて面接指導を行い、現在に至る。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい敬語、話し方を身につけることができる。 ・企業や目上の方との電話、メールの対応を正しく実践することができる。 							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション 授業の目的・他人から見た自分を知る他己紹介
2回目	働くとは 社会人と学生の違いを認識し、社会人マナーの全般が理解できる
3回目	社会人基礎力 企業が求める人材への到達度が把握できる
4回目	敬語の使い方① 社会人にふさわしい言葉遣い、対話能力の基礎が身に付けられる
5回目	敬語の使い方② 様々なシーンにおいて臨機応変に会話対応能力が発揮できる
6回目	電話対応① ロールプレイングにおいて実践ができる
7回目	電話対応② ロールプレイングにおいて実践ができる
8回目	メールの書き方・送り方① 基本ルールが理解できる
9回目	メールの書き方・送り方② 実際に作成送信ができる
10回目	自己分析・自分を知るとは 自己分析の方法が分かるようになる
11回目	自己分析・自分の特徴(強み・弱み)が理解できる
12回目	自己分析・自己PR 自分の特徴を言語化できる
13回目	就職活動の進め方 求人票の見方 企業研究
14回目	名刺交換のやり方 基本ルールを学び、ロールプレイングにおいて実践ができる
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	日頃から、ニュースや新聞に目を通すようにしてください。
評価方法	課題提出 20% 授業態度40% 筆記テスト40%
受講生への メッセージ	就職活動が本格的になって、基礎的な言語能力で困らないように、今の内からしっかりと、正しい言葉遣いやビジネススキルを学んでいきましょう。言語表現は、急に身に付くものではありません。それだけに、毎回の授業を大切に、無理なく実力を身に付けていってください。
【使用教科書・教材・参考書】	
<p>都度、資料を配布します。 制服着用で出席してください。</p>	

科目名 (英)	ホスピタリティエコノミクス / コーチングスキル Hospitality Economics / Coaching skills	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	白石 真紀
学科・コース	エアライン英語	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>今や、ビジネス上で、コーチングスキルは欠かせないと言われていています。人に関わる仕事をする上で、接脚において、自分のモチベーションを高めるにおいて、ビジネスマナーと共に、学んでいきましょう。</p> <p>【実務経験】 大学卒業時の就職活動で九州各県のマスコミ企業、一般企業の面接を受け、最終面接まで多数経験。卒業後は医療コンサルティング会社の営業を経て、司会業に転身。イベント、式典、婚礼、講演会などの司会業務に従事して20年、担当婚礼件数は2,000組～を更新中。その間に、ストレスケアカウンセラー養成、また国家資格キャリアコンサルタントを取得。専門学校、短大、大学において、社会人基礎力、コミュニケーションの講義を担当、就活生に向けて面接指導を行い、現在に至る。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的なビジネスマナーが身に付く。 ・コーチングに至るまでの基本的な心理学ツールが理解できる。 ・上記のスキルで他者援助、自分のモチベーションアップができるようになる。 							

授業計画・内容	
1回目	特別講義
2回目	オリエンテーション コーチングとは何か？歴史と概要が理解できる
3回目	コーチングの役割とスキル 基本的なスキルについて知ることができる
4回目	コーチングのプロセス ゴール設定、行動計画の立案ができるようになる
5回目	実践的なコーチング技法の紹介 GROWモデル SMART目標設定などが理解できる
6回目	コーチングにおけるコミュニケーション 非言語の重要性を理解し、アクティブリスニングの実践ができる
7回目	エンパワメントとモチベーション 強みを発見し、モチベーションを引き出すことができる
8回目	効果的なフィードバック ポジティブな改善点の指摘ができるようになる
9回目	ケーススタディ グループでのディスカッションで実践が経験できる
10回目	コーチングとリーダーシップ コーチングとリーダーシップの融合が理解できる
11回目	コーチングの応用 ストレスマネジメント等への応用ができるようになる
12回目	セルフコーチングについて 自己理解、目標設定へ自己フィードバックができるようになる
13回目	セルフコーチングの実践 自己分析、目標達成のための行動計画ができるようになる
14回目	セルフコーチングの継続 セルフコーチングを日常に取り入れられるようになる
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	日頃から、ニュースや新聞に目を通すようにしてください。
評価方法	課題提出 20% 授業態度40% 筆記テスト40%
受講生への メッセージ	コーチングは、理論やスキルを理解できると、モチベーションを上げるために、他者はもちろん、自分への活用も可能です。就職もそうですが、仕事も、つねに目標を掲げて達成に向けての実践が必要です。しかし、時には思い通りにいかないこともあるでしょう。その際に、コーチングを活用して、イキイキと自分の人生を生きられることをイメージして、毎回の授業を楽しんでいきましょ。
【使用教科書・教材・参考書】	
都度、資料を配布します。	

科目名 (英)	ヨガ Yoga	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	木下 かな
学科・コース	エアライン英語	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
曜日・時限							

<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>【学習内容】 このケアをいろんな視点から学び、それに合わせたストレッチを行います、 また、自分に合うものを体感して現在も社会に出てからも自律できるようにしていきます。</p> <p>※実務経験：日本航空株式会社にて客室乗務員として1年2か月乗務。 その他、株式会社Plan・Do・Seeにてウエディングプランナーとして3年4か月勤務勤務経験もあり、マナーやホスピタリティにも精通している。</p>							
<p>【到達目標】 ストレスと向き合い、また自身を見つめてどうケアしていくとよいか、予防することができるようになるか調節できるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	呼吸を意識してみよう。マインドフルネスを体感し体と心を休める習慣をつくることができるようになる。
2回目	ストレスとはなにかを学び、避けるのではなくどう付き合うかを考えることができるようになる。
3回目	自律神経とはどういうものなのかを知り、コントロールできるものを知ることでリズムを整えることができるようになる。
4回目	四季により体や心に変化することを知る。それを踏まえて今がどういう状態かを判断できるようになる。
5回目	ホルモンの関係を学び、体やメンタルへどう変化をもたらすのよう備えるかを実践できるようになる。
6回目	冬に向けてどう体やメンタルが変化するかを具体的に学び、冬の体づくりができるようになる。
7回目	自己分析をし、自分を見つめる時間を持つ。個性があることの大事さを知ることができる。
8回目	社会人に求められるもの、学生との違いが何かを知り、社会人としての考え方を身につけることができる。
9回目	立居振舞を学び、それぞれに合う良い姿勢を見出すことができる。
10回目	職場で必要な声掛けやクッション言葉を学び、心遣いを言葉でも表現できるようになる。
11回目	五臓六腑から体の流れを学び、疲れのサインを感じ取ることができるようになる。
12回目	アロマオイルの香りで現在落ち着くものを見つけ落ち着けるものを選択肢を増やすことができるようになる。
13回目	おなかの中から温まり冬休みで感じやすい体と心の疲れを防ぐことができる。
14回目	レポート試験
15回目	
準備学習 時間外学習	※ストレッチがしやすいように、動きやすい服装で参加してください。
評価方法	レポート50%、出席率50%
受講生へのメッセージ	ストレス過多なこの時代、ストレスとどう向き合い、付き合っていけばよいのかをお話しながら、ストレッチをしていきます。体も心も十人十色。自分自身をみつめて、それぞれにあったストレスケアの時間を一緒に過ごしましょう。

科目名 (英)	英語 English	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	MONESTESDAVID
学科・コース	エアライン英語	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) このレッスンの目標は知識を全体深め、異文化に対し興味をそそらせて社会的な面についてディスカッションをすることです。 毎回のテーマは生徒たちと話し合いながら決めると言う形です。</p> <p>※実務経験: ※実務経験: 2021年～オンラインで外国語の教師を務める。また九州日仏学館で約1年勤務したのちに、2023年から当校で講師を務める。</p>							
<p>【到達目標】 考え方と視点を広くすること</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、レッスンのコンセプトの紹介、次のテーマを決める
2回目	クラスで決めたテーマ
3回目	クラスで決めたテーマ
4回目	クラスで決めたテーマ
5回目	クラスで決めたテーマ
6回目	クラスで決めたテーマ
7回目	クラスで決めたテーマ
8回目	クラスで決めたテーマ
9回目	クラスで決めたテーマ
10回目	クラスで決めたテーマ
11回目	クラスで決めたテーマ
12回目	クラスで決めたテーマ
13回目	クラスで決めたテーマ
14回目	レポートの提出
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	レポート 100%
受講生への メッセージ	正しい答えはないトピックしかふれない。ディスカッションをしながらお互いに意見を交わしましょう。 このレッスンは日本語で行われます。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>記事、Youtube動画、TEDtalkなど</p>	

科目名 (英)	英会話(リーディング) English(Reading)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	ODEGBARO TUNDE
学科・コース	エアライン英語	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 英語でのコミュニケーション、業界に必要な英語力を身につけます							
【実務経験】 専門学校にて英語講師として10年勤務							
【到達目標】 基本的な英語コミュニケーションができる 業界に必要な英語の語彙力アップ							

授業計画・内容	
1回目	進行中の活動について読むことができる
2回目	人々の好き嫌いについて読むことができる
3回目	事故について読むことができる
4回目	困難な経験について読むことができる
5回目	レッスン1-4の復習
6回目	時間の表現について読むことができ
7回目	お願い事について読むことができる
8回目	起こった出来事について読むことができる
9回目	まだ起こっていない出来事についても読むことができる
10回目	レッスン6-9の復習
11回目	さまざまなタイプの家族について読むことができる
12回目	医学的な症状や問題について読むことができる
13回目	テストのための復習
14回目	テスト
15回目	テスト解説
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25%
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。
【使用教科書・教材・参考書】 授業内筆記(この授業専用のノートを用意してください。) ※注) 他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。	

科目名 (英)	英会話(ライティング) English(Writing)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	ODEGBARO TUNDE
学科・コース	エアライン英語	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 英語でのコミュニケーション、業界に必要な英語力を身につけます							
【実務経験】 専門学校にて英語講師として10年勤務							
【到達目標】 基本的な英語コミュニケーションができる 業界に必要な英語の語彙力アップ							

授業計画・内容	
1回目	アクションの頻度について書くことができる
2回目	個人的な背景や興味について書くことができる
3回目	過去の活動について書くことができる
4回目	旅行や休暇について書くことができる
5回目	レッスン1-4の復習
6回目	次の週の計画について書くことができ
7回目	将来の計画について書くことができる
8回目	推奨事項について書くことができる
9回目	あなたが住んでいる場所でやるべきことについて書くことができる
10回目	レッスン6-9の復習
11回目	英語の履歴書が書ける
12回目	キャリアアップについて書くことができる
13回目	テストのための復習
14回目	テスト
15回目	テスト解説
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25%
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。
【使用教科書・教材・参考書】 授業内筆記(この授業専用のノートを用意してください。) ※注) 他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。	

科目名 (英)	手話Ⅱ Sign language II	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	上田 直子 / 村上 奈緒美
学科・コース	エアライン英語コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 福岡市手話奉仕員養成事業の講師の実績がある講師が、手話の基本文法を指導する。 聴覚障害者を理解し、聴覚障害者との場面によってはコミュニケーション手段や簡単な手話による会話の実践を行う。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話で自己紹介を表現することができる ・きこえない人とのコミュニケーション手段を説明することができる ・いろいろな職業で使えるような接客用語を表現することができる 							

授業計画・内容	
1回目	手話検定模擬試験
2回目	手話検定模擬試験
3回目	手話検定模擬試験
4回目	①あいさつ 自己紹介、他己紹介の会話文で表現することができる
5回目	②家族 単語と会話文で表現することができる
6回目	③趣味 単語と会話文で表現することができる
7回目	④料理、買い物 単語と会話文で表現することができる
8回目	⑤病院 単語と会話文で表現することができる
9回目	⑥交通 単語と会話文で表現することができる
10回目	⑦学校 単語と会話文で表現することができる
11回目	⑧仕事 単語と会話文で表現することができる
12回目	⑨天気、自然 単語と会話文で表現することができる
13回目	⑩国名、季節、曜日、イベント 単語と会話文で表現することができる
14回目	試験
15回目	手話スピーチ 感想文
準備学習 時間外学習	・復習をしてください
評価方法	・出席率で40% ・筆記試験で30% ・手話の読み取り試験で30%
受講生への メッセージ	・手話を学んで、いろいろな場面で、ろう者とのコミュニケーションが出来るように学習します。一緒に頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
「DVDで楽しく学べる はじめて出会う手話」	

科目名 (英)	企業プロジェクト Corporate Collaboration Project	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	佐野 太一
学科・コース	エアライン英語	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>【学習内容】 企業の問題や課題を企業と共に取り組む事により、プロの現場での課題への取り組み方を身に付ける。</p> <p>※実務経験: 大手印刷会社での企画営業、製造メーカーにおける企画広告宣伝部や、広告デザイン制作企業において企業課題・問題解決に取り組む。</p> <p>【到達目標】 企業の企画会議に都度参加することにより現場の仕事の進め方を学び、企画立案力、提案力を身に付ける。 そして考案する企画を採用していただくことを目標にする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	(前期から引き続き)企業プロジェクトの取り組み方の確認、各人新プランの確認 (企業ミーティング 10月1日予定)
2回目	10/1_企業ミーティングの報告と次回ミーティングに向けての準備
3回目	次回企業ミーティングの準備 (企業ミーティング 10月15日)
4回目	10/15_企業ミーティングの報告と次回ミーティングに向けての準備
5回目	次回企業ミーティングの準備 (企業ミーティング 11月5日)
6回目	次回企業ミーティングの準備 (企業ミーティング 11月5日)
7回目	11/5_企業ミーティングの報告と次回ミーティングに向けての準備
8回目	次回企業ミーティングの準備 (企業ミーティング 10月19日)
9回目	11/19_企業ミーティングの報告と次回ミーティングに向けての準備
10回目	次回企業ミーティングと最終プレゼンテーションへの準備 (企業ミーティング 12月3日)
11回目	12/3_企業ミーティングの報告と最終プレゼンテーションに向けての準備
12回目	最終プレゼンテーション(12月第3週予定)
13回目	企業プロジェクトの取り組みとプレゼンテーションの振り返り
14回目	年度の振り返り
15回目	試験(レポート提出)
準備学習 時間外学習	前回取り組んだ内容を常にブラッシュアップを行う。次回授業で確認する。 ※企業ミーティングに参加する際はスーツ着用、身だしなみを整えて参加すること。
評価方法	① 課題提出とその内容(50%) ② 授業取り組みとその態度・姿勢(50%)
受講生への メッセージ	学んできた技術や知識は、実践で使うことで効果を発揮します。しかしながら知識や技術だけでは解決しないことも実践においては多くあります。 そのためには自らが調べ、考え、それを伝える努力をしなければなりません。その行動力をこの授業を通して身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
適宜配布いたします。	

科目名 (英)	就職講座 Work Seminar	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	佐野 太一
学科・コース	エアライン英語	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>【学習内容】 次年度の就職活動に向けて、具体的な活動方法から、実際の受験の試験対策を行っていく。</p> <p>※実務経験:本校キャリアセンター担当として実務と学生指導に従事してきた。</p>							
<p>【到達目標】 就職活動において自分自身の目標を定めて、その準備をこの授業内で就活前に整えて、就職活動の早期エントリー(解禁日:3月1日)し、早期内定獲得を実現します。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(就活の進め方等)。
2回目	自己分析と目標設定
3回目	履歴書の確認と具体的企業に向けて
4回目	就活情報の取得から、求人情報の見方を学ぶ
5回目	企業特性を考える(企業情報の取得から企業分析)
6回目	履歴書/エントリーシート作成①
7回目	履歴書/エントリーシート作成②
8回目	履歴書/エントリーシート作成③
9回目	履歴書/エントリーシート作成④
10回目	面接対策①
11回目	面接対策②
12回目	面接対策③
13回目	模擬筆記試験(前期授業の振り返り)①
14回目	模擬筆記試験(前期授業の振り返り)②
15回目	直前対策
準備学習 時間外学習	前回学習した内容を常にブラッシュアップを行う。次回授業で確認する。
評価方法	① 課題提出とその内容(50%) ② 授業取り組みとその態度・姿勢(50%)
受講生への メッセージ	3年生前期までに学んだ事を実際の就活に結びつけるために自分自身の3年間まとめになります。ここで真剣に取り組む事で、就活の成功を掴むことが出来るでしょう。想定している就職先の企業レベルをワンランク上に設定することが出来るように取り組み、自信をもって就活に取り組みしましょう。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>適宜配布いたします。</p>	

科目名 (英)	ホスピタリティ演習 Hospitality Practical training	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	川崎 侑季
学科・コース	エアライン英語	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 就職に向けて必要になること、知っておかないといけないことを学習します。</p> <p>※実務経験: グランドスタッフとして福岡空港国際線で勤務ののち、エアライン専門学校で3年間勤務。約1,000人の授業、就職支援、教務責任者を担当。</p>							
<p>【到達目標】 就職後に求められること(知っておかないといけないこと)をあらかじめ知っておこう。</p>							

授業計画・内容	
1回目	立居振舞 ~復習~ 第一印象は大事!
2回目	電話対応① ~固定電話の使い方~
3回目	クッション言葉(実際によく使うものを実践)
4回目	お手紙、メールでの対応
5回目	SNSのリテラシーについて
6回目	先輩、上司へのほうれんそう(実際にあったトラブルで実践)
7回目	電話対応② ~ほうれんそう、引継ぎに必要なメモ~
8回目	冠婚葬祭について
9回目	労働者の権利① ~休暇関係~
10回目	年末調整、源泉徴収票(支払調書)、確定申告について
11回目	会社員とフリーランスの違い
12回目	労働者の権利② ~もらえるお金関係~
13回目	肉体労働、頭脳労働、感情労働とは クレーム対応の流れ
14回目	対応に悩んだら優先すべきこと
15回目	卒業して社会人になるにあたって
準備学習 時間外学習	特に準備の必要はありません。
評価方法	授業態度 70% 身だしなみ・立居振舞 30%
受講生への メッセージ	これから社会に出ていくにあたり必要な内容です。 早期入社等に応じて内容が前後することがあります。
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名 (英)	ソムリエ演習 practice of Sommelier	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	増田 鉄平
学科・コース	エアライン英語	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ウイスキー・スピリッツ・リキュールやその他日本酒・焼酎などの國酒のお酒を幅広く世界各国知識として学ぶこと、サービスの在り方やカクテル作成などを実習を通してできる。</p> <p>※実務経験: 大学在学中にインターンシップにてホテルバーの世界へ。その後ホテルバーにて研鑽を積みバーテンダー業界では25年余りとなる中、現在も老舗バーにて九州代表としてカクテルコンパティションへ出場し数々入賞する。</p>							
<p>【到達目標】 バーでの作法や総合飲料取扱者として、提供の仕方や接客方法を身につけられるようにする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・他己紹介、授業の目的、専門学校での過ごし方、授業内容の把握と目標設定。
2回目	【座学】BAR・カクテルについて 【実技】バーテンダーの姿勢、お酒やボトルの扱い方、副材料、氷、グラス、バーツール 等
3回目	【座学】お酒の基礎知識① 【実技】ステア&ビルド 練習 課題 ハイボール、水割り、を作る
4回目	【座学】お酒の基礎知識② 【実技】シェイク 練習 課題ショートカクテルを作る
5回目	【座学】BAR接客について 【実技】接客(来店時、会話、オーダー、メイク、提供、お会計、退店時)& 課題カクテルを作る
6回目	中間テスト対策: バーテンダーとお客さまのグループに分かれて実際BARサービスを想定しトレーニング
7回目	中間テスト: 実技 課題カクテル1杯 (ジンフィズ)
8回目	中間テストの課題を克服
9回目	【実技】オリジナルカクテルメニュー制作① テーマ(プロポーズ時に提供するカクテル①～④)で作成する材料等も意見交換する)
10回目	【実技】オリジナルカクテルメニュー制作②
11回目	【実技】オリジナルカクテルメニュー制作③
12回目	【実技】オリジナルカクテルメニュー制作④
13回目	期末試験対策(一人でもカウンターセッティングできるように復習)
14回目	★期末試験 評価週 ※必ずシェイクここまでの授業で習った工程が出来ているか評価
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	授業に対しての教材以外でも出来ることならばどんどんやってみましょう。
評価方法	●期末テスト: オリジナル創作 モクテル1種(ロング・ショート) 課題 1杯(ロング・ショート) 計2杯(予定) 100%(授業態度、身だしなみを含む)
受講生への メッセージ	・飲食業以外でも分からないことなどあれば、気軽に質問してください。少しでも皆様のプラスになるようにして、充実し時間が過ぎていければと考えております。
【使用教科書・教材・参考書】 HBAバーテンダーズマニュアル	

科目名 (英)	カジノマネジメント / MICE実務 Casino management/Mice Business practice	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	長谷川 耕平
学科・コース	エアライン英語	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>早ければ2030年に大阪に開業するIR(統合型リゾート)。IRはといったどういう施設なのか。IR施設を学ぶため、YouTubeなどにアップされている日本のアニメ、映画など、IRを舞台にした動画を使い、IRやMICEを学ぶ。</p> <p>また、教員が長年の取材で得た情報や、日本企業はIR開業でどういったことにビジネスチャンスと捉えているのかについても解説。</p> <p>※実務経験 2010年(株)オータパブリケーションズ入社。12年から国内テーマパーク担当。13年からIR担当。ホテル編集長を経て、現在は経営調査室 室長。九州IR推進協議会・講師(2021年)。電通、アサヒビール、共同印刷ほか、大企業の社内IR勉強会講師(2017～18年)。東京ホテル・ウエディング&IR専門学校(2022年)。大妻女子大学、東洋大学、獨協大学、大阪学院大学ほか(2017年～)。直近は跡見学園女子大学(2024年)。</p> <p>【到達目標】</p> <p>カジノ施設やIRは世界約130カ国以上で合法で運営されている。 世界主要国G7でカジノ施設が運営されていないのは日本だけで、カジノ施設は特別な施設ではない。 カジノ＝ギャンブルであることは確かだが、なぜ世界中にカジノがあるのか。 どのようなカジノ施設が成功しているのか。これから日本にカジノ・IRができるとしたら、どのような施設であったら、日本人も行ってみたいと思うのか。</p> <p>本講座を受講して、「IR/カジノビジネス＝観光ビジネス」の1つと捉え、観光業は幅広い企業で成り立っていると意識できるレベルを目標とする。</p>							

授業計画・内容	
1回目 (9/26)	自己紹介・他己紹介、授業の目的、受講生から見て、日本にMICE誘致や、IR開業は必要なのかをディスカッション
2回目 (10/3)	統合型リゾート産業とは
3回目 (10/10)	シンガポール編／日本がお手本とするシンガポールのIRは何が違うのか
4回目 (10/17)	マカオ編／実は世界で1番ラグジュアリーホテルが密集するIR
5回目 (10/24)	実技授業 ★牧尾 理央先生
6回目 (10/31)	ラスベガス編／究極の地方創生！ 砂漠の町が、カジノで大都市に変貌！
7回目 (11/7)	韓国編／カジノ先行のIRは失敗！ ノンゲーミングの重要性を示した韓国IR
8回目 (11/14)	欧州編／カジノ施設はカジュアルな社交の場。外交の場として、国が管理するカジノリゾートも存在する
9回目 (11/21)	実技授業 ★牧尾 理央先生
10回目 (11/28)	実技授業 ★牧尾 理央先生
11回目 (12/5)	日本編／日本のIRはMICE型？ エンタメ型？ それとも…？
12回目 (12/12)	MICE編／MICEを呼び込むには何が必要か？ もし福岡市内に国際的なMICEを誘致できた際、課題となることは何か？
13回目 (12/19)	宿泊業界編／データから見る、日本と海外宿泊業の風潮と将来展望
14回目 (1/16)	★評価週 試験出題
15回目 (1/23)	まとめ、振り返り
準備学習 時間外学習	YouTubeやSNS等で、「ラスベガス」「マカオ」「カジノ」などのキーワードで検索すると、さまざまなIRを舞台にした作品が出てきます。 授業の予習や復習として、自身が気になったキーワードで、いろいろ検索してみてください。
評価方法	筆記試験100% 参考に提出レポート等 評価。
受講生への メッセージ	早ければ2030年に、日本版IRの第1号、大阪IRが開業します。IR施設の運営は、MGM(米国)とオリックス(日本)の共同事業です。 現在の日本のIR法では、大阪を含めて3つのIR施設の運営を認めています。 カジノ施設はクルーズ船内にもあることから、「カジノ＝悪」ではなく、「カジノ＝ビジネス」の1つと捉えて授業をします。
【使用教科書・教材・参考書】	
【使用教科書】・「YouTube」IRを題材にした映画、アニメ、MV(ミュージックビデオ)のショートムービー等を使って、IRを学びます。 例) 劇場版『名探偵コナン 紺青の拳(フィスト)』、E-girls『Love ☆ Queen』など	
【参考書】・書籍「ホテルビジネス」(発行:クロスメディア・パブリッシング/著:林田研二)第8章「カジノは日本のホテルの付加価値となるのか」に寄稿(長谷川)	
※授業中、個人のPCやタブレットを使っていただいてもOKです	

科目名 (英)	ホテルマネジメントⅡ Hotel managementⅡ / Hospitality management	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	高橋 良一
学科・コース	エアライン英語	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本校において、世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来を予測しながら、収益を上げる為のマネジメント手法の基礎からコストコントロールの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導の為、数値分析問題などを中心に指導実施する。</p> <p>※実務経験:ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の㈱HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在7期目に至る。</p>							
<p>【到達目標】 ホテルに限らず、ビジネスは利益と経費の相関関係である。ホテル飲食業界で売上に応じた適正な経費の範囲を、それはどういう根拠によって計算されるのかを共通認識として 持ち、ホテルレストラン業界マネジメントの基礎を習得する。営業分析数値を自ら操り、P/Lの解説分析が出来るレベルを到達とする 又、昨今の都市開発にはオフィス施設と商業施設とホテルの3点セットが中心になっている中で、都市開発とホテル開発との関連等を調査研究し、宿泊施設の必要性を認識理解すること</p>							

授業計画・内容	
第1回	ホテル業のSDGsの取り組みを探り、近未来の宿泊業の姿を予測する事が出来る
第2回	ホテル運営形態別の収支シュミレーションをする事で形態別の特徴が理解できる
第3回	ホテルを不動産と見るか、オペレーションと見るか、収益会社と見るかの見方によって学びの内容も変わることを知ることが出来る
第4回	ホテルが不動産として注目される背景を知ることが出来る。
第5回	マーケティングでの売れる仕組み GD 時代と共に移行行くマーケット 10年後のマーケットは何だ? を自ら感じ、考える事が出来るようになる
第6回	ホテルマーケティング手法とは 具体的手法例 分析手法の概要を知ること 戦略は全て分析から派生するものだと理解する事が出来る
第7回	マーケティングを構成する4P GD モデル施設シュミレーション 4Pの考え方を色々な場面で想像することが出来るようになる
第8回	市場と顧客の考え方 マーケットとは ホテルマーケティングに対するマーケットの考え方が理解できる様になる
第9回	マーケティングにおける販売促進活動とは何かを理解し、一段とホテル業界の販促に関心を高める様になる GD
第10回	ホテルの事業特性とマーケティング ホテル商品の特性は? を考える事で、他業界との相違点を理解することが出来る
第11回	多様化するホテル形態 異業種参入の宿泊事業 宿泊業の未来を考え、予測することで自らのポジションを認識する事が出来るようになる GD
第12回	AIDMAモデルとブランド戦略 マーケティング分析手法を理解することで多くの商品の背景には分析結果の商品開発がある事を知ることが出来る
第13回	Web&SNSマーケティングの重要性を知り、その手法を深掘りする機会を持つことができる
第14回	前期間中に実施した小テストの中から前期試験出題
第15回	基本同じ問題はしない。 課題レポートにて実施
準備学習 時間外学習	ホテル宿泊業の事業特性を深く認識し、売上は減っても利益を出す仕組みがないか?のテーマに挑む。ホテルレストラン業界をオペレーターとして志望する学生が多い中で、この業界を企業ビジネスとして他業界と比較する目線を持つことが重要と考える。学生には新聞等のメディアで色々な産業経済に目線を向ける習慣付けを指導したい。レストランマネジメント授業と連動して自分ホテルの事業計画と経営シュミレーション体験を実施する。
評価方法	筆記試験 100% 参考に提出レポート等 評価
受講生への メッセージ	入るを計って出るを制す 商いの基本を感じてもらいたい。ホテルマネジメントでもコストコントロールは マネジメント(経営)の主役の部分です。単に経費を削る事では無く、無駄を省きあるべき姿を追求する という点では日常生活にも応用できる学習です。ホテル旅館業界の人手不足が取りざたされる昨今ですが、切実に不足するのはマネジメント人材です。ホテル業は元より観光産業全般に関心を寄せ、観光立国ニッポンの為に沢山学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
<ul style="list-style-type: none"> ・学生使用テキスト無し ・全てプリント配布 あるいはPPTやPDF表示による課題 ※授業中 PCやタブレット所有の場合はExcel使用をします	

科目名 (英)	韓国語 I・II Korean Language	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	金 有里
学科・コース	エアライン英語	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>前期では基本を学んだので、後期ではそちらを踏まえた上で、色々なシチュエーションで使える韓国語を実際に使える文章で学んでいく。偏りが出ないように出来るだけなれないハングルの筆記もしてもらい。字にも慣れてもらえる様に行う。文法などはその都度ピックアップして行うようにし、教科書に沿ったような固いイメージの授業は行わず、あくまで参加型の実践的な韓国語の授業を目指す。</p> <p>※実務経験:2015年からラジオ局LOVE FMIにてK-POP番組を担当し、アーティストとのインタビューや簡単な通訳などから韓国語の幅を広げた。講師としては2020年秋ごろよりスタート。その後企業様などの団体から個人的レッスンまで得意なK-POPソング、ドラマのセリフなどを使い、ユニークなレッスンをモットーに韓国語講師として活動中。</p> <p>【到達目標】</p> <p>韓国人と会う機会があっても怖気づくことなく、自己紹介や少しの会話ができるレベルを目指す。韓国に行った際にお店の看板や標識を見てハングルを讀めて意味を4割程理解できるレベルを目指す。</p>							

授業計画・内容		
1回目	服の買い物で使える韓国語。サイズ、色、試着など	
2回目	韓国語を韓国語らしく読む授業	
3回目	季節と季節を感じられる単語たち、K-POPソング	
4回目	空港からどこかに行きたいときに使える韓国語。バス、タクシー、KTXなど	
5回目	道案内してみよう！マップを使い、目的地までの道案内をする練習	
6回目	飲食店で使える韓国語	
7回目	空港のチェックイン、接客を韓国語でしてみよう	
8回目	韓国語を韓国語らしく読む授業	
9回目	ドラマのワンシーンでのセリフを言ってみよう。	
10回目	数字を使って会話をする授業	
11回目	学校に関する韓国語たち	
12回目	自分の自己紹介を言う練習	
13回目	今までのまとめとテストの説明	
14回目	★評価週	今までのまとめ筆記テスト、自己紹介(面接)
15回目	★まとめ・追試/再試	テストの追試と時間があればk-popソング
準備学習 時間外学習	授業でやったものの復習	
評価方法	授業態度、参加意欲など 40% 期末試験 60%	
受講生への メッセージ	前期で頑張ってくれた分、後期は楽しいでしかない内容です！！基礎がわかると今度は応用編が待ってます。楽しくいろいろなシチュエーションで使える韓国語と一緒にやって行きましょう！！少人数なのでわからなければ遠慮なくお知らせください、分かるように説明や違う方向からやりましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】		
基本的にオリジナルでやっていますが、たまに使うことになるのはこちら→「基礎から学ぶ韓国語講座初級」		

科目名 (英)	空間コーディネート演習 他 Spatial coordination	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	熊崎 容子 / 綾垣陽子 / 菊池倫子 / 他
学科・コース	エアライン英語	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期 曜日・時限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 【学習内容】 広い空間のディスプレイやテーブルコーディネート等、空間の特徴や季節感を踏まえた演出を学ぶ。(花) 器の歴史を知り、テーマ別の組み合わせ、テーブルコーディネートについて学習する(器) アロマテラピー、精油について学び、香りの提案と使用例について学習する(アロマ・香り) 実際の施設や空間のデザインを手がける企業の講義を通して、空間デザインに関する基礎を学ぶ。(デザイン) ※実務経歴 長くフラワーデザインに関わり、ウェディングの花装飾にも関わって来ました。10年以上、ステージの花装飾を担当しています。(花) テレビ、ラジオの料理番組・JA提供番組を担当。結婚式場や料理教室、カフェなどのシーズン毎のメニュー選定、テーブルコーディネートに携わる。紅茶講師としても企業イベントを開催。また、25年間プライダグMCを務め、3000組以上の披露宴を担当。(後垣) NARD JAPAN認定アロマアドバイザー資格認定校 アロマ&ヘッドスパサロン・スクールSOLEIL (株)Hide&Seekアロマ記事監修 (株)通販会社「さくらの森」アロマ商品開発監修などアロマに関する経歴、実績多数。(菊池)							
【到達目標】 広い空間のディスプレイやテーブルコーディネートを理解し、考え、制作できる。(花) テーマに合わせたテーブルコーディネートができるようになる(器) 環境に合った香りの提案ができるようになる(アロマ・香り) 空間デザインに必要な考え方や視点を学ぶことができる。(デザイン)							

授業計画・内容	
1回目	9月25日 1限 特別講義(市丸先生)
2回目	9月25日 2限 特別講義(市丸先生)
3回目	10月2日 装花①(熊崎先生)
4回目	10月9日 装花②(熊崎先生)
5回目	10月16日 装花③(熊崎先生)
6回目	10月23日 空間デザイン①(デザイン企業)
7回目	10月30日 空間デザイン②(デザイン企業)
8回目	11月13日 空間デザイン③(デザイン企業)
9回目	11月20日 器① 器の歴史・種類・テーマ別の組み合わせについて学ぶことができる。
10回目	11月27日 器② 最先端のプライダグのテーブルコーディネートについて学ぶことができる。
11回目	12月4日 器③ テーマに合わせたコーディネートを考え、アウトプットできるようになる。
12回目	12月11日 アロマ・香り① アロマテラピーについて、精油の基礎知識、香りが心身に与える影響について学ぶことができる。
13回目	12月18日 アロマ・香り② 精油の伝達経路、アロマブレンドのコツについて学ぶことができる。
14回目	1月15日 アロマ・香り③ 環境にあった香りの提案と香りの使用例について学ぶことができる。
15回目	1月22日 まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	・各分野 授業態度(40%)+課題(60%)=100% ※各分野の評価を合計した平均で最終評価の点数とします。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	